

科目名 (英)	生活支援技術D (Life Support Skills D)	必修 選択	必修	年次	1、2	担当教員	
学科・コース	介護福祉士科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60	開講区分 曜日・時限	前期・後期 水曜、4時限目
【授業の学習内容】 尊厳の保持の観点から、どのような状態であっても、その人の自立・自律を尊重し、潜在能力を引き出し、見守ることも含めた適切な介護技術を用いて、安全に援助できる技術や知識について習得する。生活支援の専門職である介護福祉士は、利用者の介護を行なう際には、自立に向けた支援を行うことを目標とすることを学び、その具体的支援技術を学ぶ必要がある。具体的内容として、レクリエーションを通して、その人の潜在能力を引き出し、生活支援につなげる方法を学ぶ。また計画の立案や援助職の心得等の技術を、演習により理解し、様々な状況と年齢層に対応できる技術が理解できるようになる。 ※実務者経験:①福祉施設等に所属していた。主業務は高齢者の介護及び相談支援業務を担当していた。※取得資格:介護福祉士 ・ 社会福祉士 ②福祉施設等に所属していた。主業務は障害児者及び高齢者の介護業務を担当していた。※取得資格:介護福祉士							
【到達目標】 生活支援の専門職である介護福祉士は、利用者の介護を行なう際には、自立に向けた支援を行うことを目標とすることを学び、その具体的支援技術を学ぶ必要がある。そのため具体的な到達目標として、現場で即実践できる知識・技術を習得することができる。							

授業計画・内容	
1回目	「レクリエーション事業論①」…レクリエーション事業について、レクリエーション事業の展開方法について理解できる。
2回目	「レクリエーション事業論②」…レクリエーションプログラムの組み立て方と運営方法について理解できる。
3回目	「レクリエーション事業計画①」…アセスメントに基づいたプログラム計画(アセスメント・計画)について理解できる。
4回目	「レクリエーション事業計画②」…アセスメントに基づいたプログラム計画(実施・評価・記録)について理解できる。
5回目	「レクリエーション事業計画③」…市民を対象としたレクリエーション事業案(企画・準備)作成について理解できる。
6回目	「レクリエーション事業計画④」…市民を対象としたレクリエーション事業案(実施・整理)作成について理解できる。
7回目	「レクリエーション事業計画⑤」…グループ活動・イベント進行の応用術について理解できる。
8回目	「安全管理について①」…レクリエーション実施時の安全管理に必要性とその方法について理解できる。
9回目	「安全管理について②」…レクリエーション実施時の危険予測(危険の捉え方・危険因子)について理解できる。
10回目	「安全管理について③」…レクリエーション実施時の危険予測(計画と安全管理・保険)について理解できる。
11回目	「安全管理について④」…レクリエーション実施時に起こる事故等の対応方法(発生時の応急処置など)について理解できる。
12回目	「安全管理について⑤」…レクリエーション実施時に起こる事故等の対応方法(記録・事故者とその家族への対応)について理解できる。
13回目	「安全管理について⑥」…レクリエーション実施時の対象者把握の視点について理解できる。
14回目	「コミュニケーションワーク①」…レクリエーションにおけるホスピタリティについて理解できる。
15回目	「コミュニケーションワーク②」…対象者との円滑な関係づくり(援助者側の行動・態度)について理解できる。
16回目	「ホスピタリティー示し方①」…小集団(1対1)の中での円滑なホスピタリティの示し方について理解できる。
17回目	「ホスピタリティー示し方②」…集団内での円滑なホスピタリティの示し方について理解できる。
18回目	「アイスブレーキングについて①」…アイスブレーキングの意義と基礎技術について理解できる。
19回目	「アイスブレーキングについて②」…プログラミングの原則と、様々な局面での実施例について理解できる。
20回目	「目的に合わせたレクリエーションワーク①」…レクリエーションを実施する際の素材・アクティビティの選択方法について理解できる。
21回目	「目的に合わせたレクリエーションワーク②」…レクリエーションを実施する際の素材・アクティビティの提供方法について理解できる。
22回目	「目的に合わせたレクリエーションワーク③」…レクリエーションを実施する際の対象者間の相互作用の活用法について理解できる。
23回目	「対象に合わせたレクリエーションワーク①」…対象者の年齢や特徴に合ったレクリエーション提供の方法について理解できる。
24回目	「対象に合わせたレクリエーションワーク②」…レクリエーション実施における展開方法(アレンジ法)について理解できる。
25回目	「対象に合わせたレクリエーションワーク③」…レクリエーション実施における展開方法(アレンジ法)について理解できる。
26回目	「レクリエーションワークの応用①」…レクリエーション実施における、対象者の長所を活かす展開方法について理解できる。

27回目	「レクリエーションワークの応用②」…レクリエーション実施における、分割方法の考え方とその方法について理解できる。
28回目	「レクリエーションワークの応用③」…レクリエーション実施における、音楽療法と実施時の展開方法について理解できる。
29回目	「レクリエーションワークの応用④」…レクリエーション実施における、音楽療法と歌のリードの基本技術について理解できる。
30回目	「レクリエーションワークの応用⑤」…レクリエーション実施において、対象者の感動を引き出す支援方法について理解できる。
準備学習 時間外学習	準備学習…授業に臨むにあたって、教科書の内容を熟読しておく必要があります。 時間外学習(復習)…各単元の講義後に確認テストを実施します。講義の復習が必要です。
評価方法	成績の評価は、「試験」の点数で100点満点とする。「試験」には科目試験や中間試験、小テスト等の臨時試験の評価などが含まれる。
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】	
教科書： 楽しさをとおした心の元気づくり ～レクリエーション支援の理論と方法～ （公益財団法人 日本レクリエーション協会）	